

別紙 2

審査基準

審査項目	審査の視点
趣旨や目的の基本理解	<p>【趣旨や目的の理解度】 本業務の趣旨や目的を十分に理解し、今後の本県における取組を検討する上で、有益な助言・提案が期待できるものとなっているか。</p>
	業務運営体制
<p>【実施体制】 業務を確実に履行できる体制が確保されているか。</p>	
実施スケジュールや必要経費の適切さ	<p>契約上限額の範囲内で必要経費が適正に計上され、合理的な見積内容となっているか。</p>
	<p>提案された実施スケジュールは、現実的で円滑な実施が可能なものとなっているか。</p>
事業効果の高さ	<p>項目 1 研究会の開催にあたり、コンセプトが明確で、それに応えられる実績を持つ講師を選定しているか。</p>
	<p>項目 2 研究会の運営にあたり、広く県内外企業に広報し、会員の加入促進及び研究会の集客が期待できるか。</p>
	<p>項目 3 リモートセンシング研修の開催にあたり、研修イメージが明確で、県内企業の参加意欲を促進させる研修の運営が期待できるか。</p>
	<p>項目 4 ビジネスマッチングにおいて、宇宙関連企業と参入を考える県内企業との効果的なマッチングとなるよう、十分な支援体制や工夫がなされているか。</p>
	<p>項目 5 地域課題解決型衛星データ活用実証事業及び宇宙ビジネス研究開発支援事業の審査員選定において、宇宙ビジネスの現状を理解し、適切な審査が行える者を審査員として選定しているか。</p>
	<p>項目 6 宇宙ビジネスコーディネート業務において、宇宙機器開発、衛星データ活用、人材育成等、多岐にわたる宇宙ビジネスの相談に対応できる体制が取られているか。</p>
	<p>項目 7 宇宙ビジネスコーディネート業務において、提案者の強みを活かし、事業効果を最大化させる提案が行われているか。また、その提案を本事業において実施することが妥当と判断できるか。</p>
	<p>項目 8 上記のほか、業務の目的を達成する上で、有益な追加提案や独自の効果的な手法・工夫がなされているか。</p>